

2014年11月11日開催 第593回番組審議会

■ 出席委員

櫻井美幸委員長、佐藤友美子副委員長、上田理恵子委員、神谷徹委員、小菅洋人委員、佐藤卓己委員、東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

松島専務、榎本専務、梅本常務、豊田取締役、木田取締役
赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長
浦川東京制作室長、竹園プロデューサー

◆ 審議事項

全国ネット ドラマ番組「最強のオンナ」(2014年10月5日(日)21:00~22:48放送)について意見交換した。

◆ 報告事項

CM考査ガイドライン改定について、コンプライアンス室長が報告した。

各委員の主な意見は次の通り。

- *たこ焼きだとか幸せの飴ちゃんだとか、なにわ文化満載はある種のキャラづくりだと思うが、そういう関西風のコテコテのキャラの好みは、きっと見ている人にはある。
- *老若男女問わず楽しめる、よくできたドラマだ。「あまりにも王道」な感じがして、贅沢だが、物足りなさがあったのも否めない。
- *連続ドラマだと、そのひと人物の背景を何回かに分けて徐々に出していく。こういう単発ドラマだと、そこが難しい部分がある。もうちょっと工夫があったほうがよかった。
- *この家政婦ものというのはすごく気になる部分がある。制作する側でも女性の社会進出を応援するという視点で、考えながらつくってほしい。
- *登場人物のキャラクターは、かなりステレオタイプで、普通ならだれる設定だが、演技がそれを遥かに凌いでいて、強烈な印象を残してすばらしいドラマになった。子役もすばらしい。
- *大阪のお節介なおばさんがいい具合にアピールされていた。派手な格好とか派手な発言とか、もう少し抑え気味にしたほうが自然だったし、藤山直美だったらきっと演じてくれたんじゃないか。
- *ところどころにすごくリアルなところがあって、よくできていると思った。そういうところが特に共感しながら見ることに繋がった。

以上